



6 能永寺

市内では唯一の時宗のお寺です。古くは、浦の郷道場(現在の追浜本町)にあったといわれ、一遍上人が建治2年(1276)に開基したと伝えられています。

天保14年(1843)に建てられた本堂の前には、この辺りでは珍しい「しだれ梅」の古木があります。

中国の画工、陸信忠の作と伝えられる「地藏十王図の掛軸」と裏山の貝塚から出土した「骨角器」は、市の重要文化財に指定されています。

7 正観寺



天正年間の創建と伝えられています。

「榎戸薬師」として知られる薬師堂には、智証大師(円珍)の作と伝えられる薬師如来像、江戸中期に神武帝から寄進された十二神将像が祭られています。

境内には、実の種が羽根つきの玉や数珠として使われた「むくろじゅ」や、ヨコスカの名が付いた珍しいシダが自生しています。

後北条氏時代には、榎戸湊に出入りする船の見張り所が、この地にあったと伝えられています。

8 榎戸湊



浦郷公園を通り抜けると、深浦湾に沿った道に出ることができます。

かつては能永寺の門前あたりまで海が入りこみ、榎戸湊と呼ばれる海上交通の要所でした。鎌倉時代には、金沢、浦賀と並ぶ鎌倉の外港として数えられ、江戸時代には周辺や相模湾で捕れた魚介類を江戸の魚河岸へ出荷する漁港として栄えました。

現在は埋め立てられてしまい、当時の面影をしのぶことはできません。

9 官修墓地



明治10年(1877)の西南の役で、政府軍として参戦した兵士の墓です。戦が終わる、東京へ帰る船中でコレラが発生し、多くの病死者が出ました。そのうち、遺族不明の48人は黒崎海岸(現在の貝山緑地のふもと)に埋葬されました。

大正2年(1913)、海軍航空隊の用地となったときに、墓は現在の地に移転しました。毎年5月には地元有志により墓前祭が行われています。

観光ボランティアガイドのおすすめ

1 貝山緑地周辺

マップには載っていませんが、追浜駅から海へ向かう夏島貝塚通り沿いにある貝山緑地(浦郷町)は、現在「あんずの木」が植樹され、公園整備が進められています。

ここには「予科練誕生之地」「海軍航空発祥之地」など、旧海軍関係の碑が残されています。展望台からの眺望は素晴らしく横須賀港へ出入りする艦船を眼下に見ることができます。



予科練誕生之地の碑

おみやげ 横須賀 おっぱまワイン

追浜商盛会は全国で初めて商店街としてワイン醸造免許を取得。2005年から商店街の空き店舗を利用した「追浜こみゆに亭&ワイナリー」で醸造した「横須賀おっぱまワイン」を販売しています。毎月第3金曜日は「ワインの日」。17:00~20:00に店頭でワインを楽しむことができます。



■ 1,300円(720ml)
■ 時 月~土曜日11:00~17:00
■ 問 追浜こみゆに亭&ワイナリー
■ ☎ 046-865-2625
URL: <http://oppama-wine.com/>
<http://www.oppama-town.com/>

注目! スポット 湘南シーレックス

湘南シーレックスは、プロ野球「横浜ベイスターズ」のファームチーム。横須賀スタジアムがホームグラウンドです。金城龍彦選手や内川聖一選手などのベイスターズの主力選手たちは、このグラウンドから巣立っていきました。「彼らに続け!」と将来のスターを目指す選手のハツラツとしたプレーはもちろん、各試合ごとに「よこすかカレーゲーム」や「ビール飲み放題デー」といったイベントも開催され、ご家族一緒に楽しめます!



■ 料 大人(18歳以上)1,000円
中・高校生500円、小学生300円
■ 問 試合日程などの詳細はこちらへ
☎ 045-681-3008(湘南シーレックス)
URL: <http://www.baystars.co.jp>

ヨコスカの遊び情報は「ここココ」で!

携帯情報サイト「ここはヨコスカ」

横須賀のお出かけ情報をいつでも、どこでも手軽にチェック! 横須賀の観光スポットから最新イベント情報まで、情報満載の携帯サイトです。サイト内からメルマガに登録すれば、観光・グルメクーポンなどさらにお得な情報も! (右QRコードからどうぞ)
URL: <http://www.cocoyoko.net/>

パソコンでチェックするならこちら!

横須賀の観光スポット、イベント情報を紹介するホームページです。今が旬のイベント情報や、横須賀でしか味わえないグルメ情報などミミより情報が満載! 横須賀行なら「ここココ」をチェック!
URL: <http://www.cocoyoko.net/>

ここココ 検索



■お問い合わせ 横須賀市コールセンター
TEL: 046-822-2500 <年中無休8:00~20:00>

横須賀集客促進実行委員会 (横須賀市 横須賀商工会議所 京浜急行電鉄株) 事務局 横須賀市企画調整部企画調整課 TEL046-822-8124 平成21年3月発行

観光ボランティアガイドが足で調べた

三浦半島

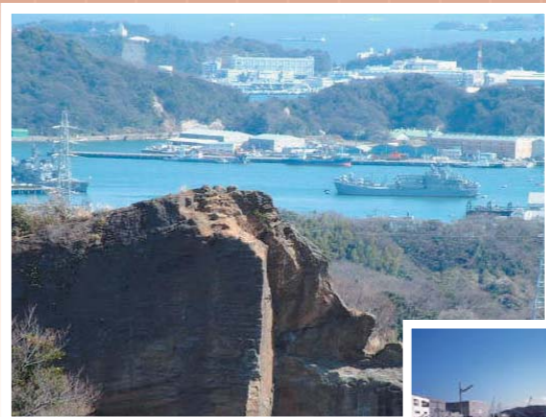
きまに

散歩

マップ付



追浜駅周辺



鷹取山



深浦港



追浜の歴史スポットを巡るコースです。深浦港のヨットハーバー、八景島の眺望など、変化に富んだ景色を楽しめます。(約6km、約1時間20分)



「湘南妙義」と呼ばれた鷹取山を越えて逗子の古刹「神武寺」を訪ねる歴史ハイキングコースです。(約7km、約1時間40分)

1 傍示堂

国道16号線沿いに小さなお堂が建ち、庚申塔や地藏尊が祭られています。江戸時代まではこの辺りが武蔵国と相模国の国境となっており、江戸から浦賀へ通じる浦賀みちの相模国の起点がこの傍示堂の辺りになります。



国境には番小屋が設けられ、ならず者や悪い病気が入らないよう監視していたと考えられています。

浦賀みちは雷神社の一の鳥居と二の鳥居の間を南北に貫き、良心寺を経て首斬観音の前を通り、船越、田浦へ続いていました。

2 雷神社

雷神社の祭神は火雷命(ほのいかづちのみこと)、創建は承平元年(931)と伝えられています。降雨を祈る雨請い(河伯の儀)が、神社の起源と考えられています。



天正9年(1581)に、当時の浦郷村の領主であった朝倉能登守が、社殿を築から現在の地に移し雷神社として再興しました。その動遷の縁起が次のように伝わっています。「鷹取山の峰から突然ものすごい稲妻と雷鳴が響き、12人の乙女たちがおこもりを続ける築島に落雷した。雷はかたわらの柏槇(バクシン)の木に落ち、木は黒焦げになったが彼女たちはかすり傷一つなかった」

築島には、御神木として柏槇の木が立っています。当時、この辺りは入江で、



田の中の小さな島となっていました。昭和6年に建てられた「雷神社旧跡之碑」の後ろには小さな池があり、その名残をわずかにとどめています。

雷神社の境内のご神木のイチヨウの木は樹齢400年を越す大木で、垂れ下がる「乳頭」が安産や子育ての信仰の対象となっています。

5 観音寺

筒井トンネルの上を通り、庚申塔の脇を抜け尾根道を進むと、観音寺があります。見漁台(きんぎょだい)と呼ばれる台地の南端に位置しており、ここからの風景は「浦郷八景」として、江戸時代に歌に詠まれるほどの美しさでした。



この地には、朝倉氏の城があったといわれており、浦郷一帯に語り継がれた歌「朝日さす 夕日輝く もろの木の下に 漆千杯 銭が十億万両」から、「埋蔵金伝説」があります。

横須賀集客促進実行委員会 (横須賀市、横須賀商工会議所、京浜急行電鉄株)